

## 入学式 式辞

90名の新入生の皆さん、入学まことにおめでとうございます。皆様を支えてくださったご家族・関係者の方々にもお祝い申し上げます。本来ならば多くのご父兄や来賓のご臨席のもと盛大な入学式が行われるはずでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、ささやかな簡略化された場になったことをお許しください。

本学は創立94年目を迎えた、日本で一番歴史のある診療放射線技師の養成学校です。新型コロナ肺炎の患者は、診療放射線技師が撮影する肺のX線撮影、肺のCT撮影を受けて初めて正確に診断され、適格に治療されています。皆様の先輩の診療放射線技師は、使命感と責任感をもって新型コロナ肺炎患者に向き合っています。

去年は入学式・オリエンテーションの後、すぐ大学は閉鎖され、学生が初めて登校したのは6月中旬からでした。それも半分の学生のみで、半分の学生はオンライン講義。全て対面講義となったのは9月の後期授業からでした。

皆様は週明けから全て対面授業で行いますので、上級生に比べると幸せです。しかし、注意事項をきちんと守って、「コロナにかからないよう、他の人にうつさないよう」にしながら、大学生活を楽しく送ってください。入学式に先立って島津奨学金を給付された27名の上級生のリストが掲示されましたが、新入生の皆様も島津奨学金を目指して勉学に励んでください。さらに整備されたばかりのグラウンドで、思い切り体を動かしてください。

入院中のコロナ患者は体だけでなく、精神的にも苦しんでいます。患者はコロナで死ぬのではないかという不安の中、家族の見舞いもありません。コロナ患者だけでなく、病院に来るのは病に苦しむ病気の人々です。患者を思う優しい心、患者に寄り添う姿勢がとても大切になってきます。

大学では技術的なこと、専門的なことだけでなく、国語、英語などの語学、文学、コミュニケーション、倫理学など一般教養も学びます。これらは仕事と無関係に見えるかもしれませんが、毎日の仕事・人間の成長には一般教養が欠かせません。

時代は急速に進んでいますし、新しい技術が次々と開発されています。コロナに対するワクチンも、予想したよりも早く開発され、すでにワクチン接種が始まっています。遺伝子技術を利用することにより、素早くワクチンが開発され、ワクチンによってコロナを抑え込むことができるのではないかと期待されています。

IT 技術の発展によって放射線医療もどんどん変化しています。皆様はこれから 50 年間以上仕事することになるでしょうが、50 年後の医療が、50 年後の日本が、50 年後の社会がどうなっているか、誰にも予測できません。急速に発展する医療技術に対応しなければなりません。そのためには自分で一生懸命調べ、自ら主体的に勉強する姿勢を身につける必要があります。この自主的に勉強するところが、高校と大学との違いです。「自ら常に学び続ける」習慣を養い、大学時代に「変化に対応できる知性」、「混沌とした時代・新しい時代に対応できる能力」を身につけてください。

本学は創設 94 年という長い歴史がありますが、この長い伝統・多くの優れた先輩が本学の財産です。先輩の築いてきた良い伝統を、新入生の皆様がさらに発展させ、より良い素晴らしい大学にしなければなりません。

本学の建学の精神は、創立以来

「品性を陶冶し、有為の技術者を養成する」です。

皆様が品性に優れた、優秀な技術者になるように指導することが我々教職員の使命と考えています。

猛威をふるっているコロナも人間の叡智によって必ず克服されます。しかし、それまでは強い危機感をもって、注意事項を良く守って行動するよう心掛けてください。皆様が本学において実り多い、楽しい 4 年間の学生生活を送ることができることを確信しています。

2021 年 4 月 3 日

学校法人島津学園 京都医療科学大学

学長 遠藤 啓吾